



タウンサポーター



【発行】下都賀教育事務所 ふれあい学習課 栃木市神田町6-6 0282-23-3422 E-mail: shimotuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

下野市青少年育成市民会議

小山市立城北小学校

実のあるふれあい学習の下支えをめざして

子どもたちの健やかな成長を願いながらも、この1年間新型コロナウイルス感染予防上、動きが取れませんでした。一役員からの提案を生かして次の三つの活動をさせていただきました。

★その1. 「市内各小中学校へ消毒液シャボネット配布」

社会の状況から薬液が逼迫し手に入りません。やっとの思いで配布にたどり着きました。子どもたちの活動後における手洗い状況が目に見えます。



★その2. 「国分寺特別養護学校への呼びかけ」

“しもつけ子市ほめ条例”の規約上、県立学校の参加が困難であったことに、市行政の御理解をいただいたことで、市民会議が行う各種行事への参加が可能になったことです。これからが楽しみです。

★その3. 「家庭の日啓蒙に関する市倫理法人会との提携」

親子の触れ合いは何にも勝るふれあい学習の基本と捉え、一般社会団体との提携から何が生まれるか期待したいところです。



ふれあえなくても つながっています

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響を大きく受け、地域の方々とのふれあう機会はほとんどなくなってしまいました。

そんなコロナ禍においても、地域の方々の、小山城北小を想うあたたかいお気持ちをあちこちで感じています。直接子どもたちと触れ合うような活動はできなくても、学校生活が明るくなるようにと、地域の方が、手作りのマスクや四季折々の掲示物を作って届けてくださいました。また、読み聞かせボランティアの方々は、フェイスシールドをして、書画カメラを使っての新しいスタイルの読み聞かせ会を実施してくださいました。例年お世話になっている「のこぎりボランティア」は今年も感染対策をして実施します。



工夫を凝らしながら、これからも地域の方々のお力をお借りし、子どもたちの成長を共に見守っていききたいと思います。(← 左の写真は、昨年度の活動の様子です。)

地域をつなぐ ふれあい学習

生涯 町

壬生町放課後学習サポート事業



本事業は、中学生の学力向上対策並びに地域住民が活躍できる機会の創出を目的として行っており、16年目を迎えました。

今年度は11月からスタートし、15名の地域住民が無償の学習支援ボランティア講師となり、進路や夢の実現に向けて学習に励む中学3年生78名の自主学習を支援しています。積極的に学習支援ボランティアに質問する中学生の姿と、それに対して優しく誠実に答える学習支援ボランティアの姿が多く見られています。また、お互いに笑顔があふれ、あたたかな交流を深めています。

例年、参加した中学生から、「とてもわかりやすく、丁寧に教えていただけるのでよかったです。解説時のメモをいただき、その後自分でノートにまとめたのでとても助かりました。」などの感想があり、大変好評です。



太平山少年自然の家

太平山三大名物とともに



コロナ禍で主催事業が実施できずにいましたが、去る10月31日(土)、ようやく自然の家らしい山登りのイベント「踏破だ!太平山」を実施することができました。ところで皆さんは「太平山三大名物」をご存じでしょうか。太平山神社に奉納された米(だんご)や鶏(焼き鳥)、そして鶏が産んだ卵(玉子焼き)が三大名物として知られており、自然の家付近の茶店で食べることができます。本所のマスコットキャラクター「ゲッターくん」の手にも、しっかりと太平団子が握りしめられています。

前述の主催事業の参加者におみやげで団子を渡したり、食事で三大名物を提供したりすることがあり、そのたびに茶店の方々にお世話になっています。我々職員が茶店の前を通ると、店先からささくに声をかけてくださり、地域とのつながりを実感しています。



下都賀地区 地域教育コーディネーター養成研修

～連携・協働をデザインするためのスキルアップ～

今年度は、学校と地域が育てたい子ども像を共有するために有効な手段となる広報活動とワークショップのスキルアップをねらいとして、全3回の研修を実施しました。

第1回研修では、魅力的で効果的なたよりやチラシを作成するために大切となるデザインや掲載内容のポイントについて、宇都宮メディア・アーツ専門学校 山田 有宏 先生、同校ビジュアルデザイン科2年の 中山 祐依 さん、廣澤 樹生 さんから説明いただきました。学んだことを活かしながら現地研修(第2回研修)でたよりやチラシを作成して第3回研修で持ち寄り、同じ班のお隣さんと交換した作品を、あたかも自分が作成してきたかのように「勝手にプレゼン」する手法で、それぞれのよさを紹介し合いました。



学校と地域がパートナーとなり、未来を担う子どもたちの成長をともに支えていくためには、学校と地域をつなぐコーディネーターの存在はとても重要です。参加者の皆様の今後の活躍を期待しています。

● デザイン面

広告効果の秘訣は「分かりやすく具体的である」こと

★ Point1 タイトルや見出し

- ・一目で理解できるタイトルをつける
- ・専門用語は理解しやすい言葉に置き換える
- ・キャッチコピーで端的に伝える

★ Point2 紙面の構成

- ・文章や写真の配置、大きさにメリハリをつける
- ・優先順位を考えた紙面構成にする

★ Point3 視覚的効果

- ・写真やイラストを上手に活用する
- ・色を効果的に用いる
- ・文字の書体を上手に使い分ける

● 内容面

ビジョンや目標を共有するための情報発信

★ Point1 相手がいることを意識した情報発信

- ・情報を受け取る相手を意識して作成する

★ Point2 活動の意義や目的

- ・活動の意義をきちんと伝える
- ・相手の感情や気持ちにうったえかける
- ・参加者の感想などを上手に活用する

「たより」や「チラシ」づくりのポイント

「ふれあい学習」は、子どもを核とした幅広い年代の人々との交流活動や体験活動、学習活動を指します。

ふれあい学習を通して、学校・家庭・地域が連携・協働し、子どもの「生きる力」を育むとともに、家庭と地域の教育力の向上を目指します。